



老人福祉の中枢を担う養護老人ホーム「坂田苑」

住環境の整備

●これから整備・増設してほしい施設は、「医療施設」「歩道」「下水道」「街路灯・防犯灯」「老人福祉施設」「保健福祉施設」などが高く、3割台で並んでいます。これは各地区、各年齢層で高い割合を占めています。特にお年寄りの方は、「老人福祉施設」「保健福祉施設」などへの要望がより強くなっています。(グラフ4)

●大地震に備えて行っていることは、「携帯ラジオなどの準備」を6割、「避難場所を決めている」「風呂に水をためおきしている」などを4割の人が行っていますが、これ以外は2割以下に過ぎません。一方で「特に何もしていない」とする人が2割を占めています。(グラフ5)

●町の災害対策は、「食料などの緊急物資の確保」「救急医療体制の整備」など、災害が起こったときの対策への要望が高くなっています。これに比べて「避難訓練の実施」「自主防災組織の育成」「災害時の心得や知識の普及」など、災害に備えて町民自ら取り組むものは低い割合にとどまっています。(グラフ6)

●高齢化社会対策は、「老人ホームや老人病院など施設整備」「ホームヘルプサービス」の充実、「デイケア、ショートステイの充実」などが上位を占めますが、これ以下も分散しており、要望は多岐にわたっています。総合的な高齢化社会対策が望まれているといえます。(グラフ7)

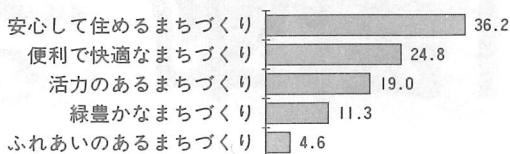
●産業振興策は、「企業誘致など工業振興」が最も高く、企業の進出への町民の期待が特に大きくなっています。以下は商業、観光、農林業がほぼ同率で並んでいます。(グラフ8)



企業進出など期待が大きい工業団地

〈グラフ9〉

今後の町づくりの進め方



〈グラフ10〉

特に力を入れてほしい施策

(注：複数回答数5)

